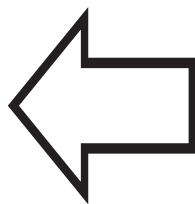


一般質問

月 日	質問者氏名	質問事項
6月9日 (月)	栗原吉平	1 林業の振興について
	樋口安葵次	1 過疎化する地域の道路改良について
		2 バイパスの新設について
		3 市営住宅の建設について
		4 白木和水町間のトンネルについて
	萩尾洋	1 公有財産利活用検討委員会について
		2 雇用促進住宅改修事業について
	森茂生	1 キウイフルーツについて
		2 財政問題について
		3 子育て対策について
6月10日 (火)	橋爪房義	1 高齢化社会及び人口の減少が続く中、住み良い住環境の整備に向けた街づくり対策について
		2 1級市道新庄宮島線改良工事の積極的取組について
	小川栄一	1 空き家対策について
		2 やめっこ未来館の運営について
		3 防災対策
	松崎辰義	1 環境問題について
		2 高齢者福祉について
		3 子育てについて
	6月11日 (水)	三角真弓
井本政弘		1 防犯対策について
朽網英文		1 キウイフルーツかきよう病新系統「Psa3」の被害感染実態について
		2 市の地域観光施策について
牛島孝之		1 八女市の再生可能エネルギーの現在の状況及び今後の八女市の考えは
		2 母子生活支援施設(ひまわり園)について
	3 八女観光物産館、八女伝統工芸館の現在の状況今後について八女市の考えは	

《一般質問の詳しい内容》





栗原吉平



べんがら村に導入している木質バイオマスボイラー

森林荒廃の再生に向けた、基盤強化の施策は

答

森林経営計画の効果的な運用と林業者と市が連携を図っていく

問 市内で調達できる木質バイオマスの量は。また、計画促進に基づく小型バイオマスボイラーの農業利用実証事業は。

答 6万3千立方メートル

状況である。昨年1年間で実施した農業施設実証事業によるボイラーの製作支援と加温能力の実証試験について、事業化に結び付けたい。

問 八女材のバイオマス発電計画はどの程度で何世帯賄えるのか。そして、2割しか搬出できない状況だが、対応策は。

答 6万3千立方メートルは21回地8572ヘクタールであるが、民有林の28%しかない。そして、小規模林業者にとって施業規則が負担となっている場合が多く、この制度見直しを国に要望している状況である。

賦存量で、対応発電設備は2500キロワットで約3600世帯である。森林経営計画に基づいた主伐による出荷材積1立法メートル当り800円を助成していきたい。

問 森林経営計画の啓蒙活動と状況については、どのようにしているのか。また、なぜ認定作業が遅れて進まないのか。

答 25年度末の計画認定

鞍懸町内の道路を4メートルに拡幅すべきではないか

答

地元からの要望もあるので、地元行政区と協議・検討する



樋口安栄次



雇用促進住宅「八女（蒲原）宿舎」

問 県道玉名八女線と船小屋八女線のバイパス実現について。

答 バイパス案での事業化は厳しいと思うが、八女市としては、今後も引き続き、県へ強くお願いするとともに、市道改良を含めた整備については、地元行政区、各関係機関と調整を図りながら進めていきたい。

問 今度、購入する雇用促進住宅の高齢者と障がい者のための対策はどうなっているのか。

答 正式購入の意向を申し入れ、契約に向けた協議・交渉を進めている段階である。

問 県道玉名八女線のトンネルについてどうなっているのか。看板を立てたらどうか

答 いずれの日にか私共もトンネルの看板を立てる日がくることを願いながら、今後とも努力していきたい。

公有財産利活用検討委員会は、具体的にどのような検討をしているのか



萩尾 洋

答 施設の数・適正配置について基本方針に基づき検討している

問 利活用を決定した物件の具体的な方向付けは、

答 採算性・必要性とも低い138施設を対象に、まず1が統廃合、2が一部廃止、3が廃止または休止、4が地域または公共的団体への移譲、5が民間移譲、民営化、6が現状維持という6段階に分類し、検討している。

問 最終的にその物件を取り扱う所管は、

答 検討委員会で方向付けをしたら、市長に答申し、承認を得た後、それぞれ

問 雇用促進住宅改修事業に

答 採用促進住宅改修事業に

問 建物の構造概要は、

答 構造概要は、壁式鉄筋コンクリート造。耐震機能は十分な。

問 雇用促進住宅改修事業に

答 採用促進住宅改修事業に

問 生活様式が若干変わってきているので、そういった部分も考慮し、検討する。



雇用促進住宅「八女(蒲原)宿舎」

問 キウイの販売高は20億円で中山間地の農業には欠かせない作物、被害の現状と今後の対策は、

答 14ほ場、225haが感染。全て伐採し封じ込め作業が終了。



森 茂生

問 風評被害など2次被害が生じないよう、的確な情報発信に努める。

問 財政問題について

答 財政調整基金、福岡県下で何番目に多く積み立てているのか。

問 三河、八幡、光友の保育所を民間に移管する計画のようだが、今ある公立保育所は市が責任をもってやるべきでは、

答 民営化を実施するが、移管後不適切な経営、運営があれば指導する。

問 1番が福岡市で14億円、びつくりするのは2番目が八女市で117億円、北九州が87億円、久留米市が62億円である。財政規模からして多過ぎる。保育料、学校給食を無料にする等思い切った対策をとり住民に還元するべきではないのか。

答 子育て、高齢者対策等いろんな問題がある、参考にさせてもらう。

答 弊害は大きいですが、因果関係はまだ証明されていない

自閉症など発達障害は、テレビ等の影響が原因の一つでは



橋 爪 房 義



一級市道 仏尾木浦線(上陽町下横山)

高齢化社会と過疎化が進む中、住み良い住環境の街づくり対策はどうする

答

中山間地域の道路愛護作業は早急な検討課題と認識する

住み良い住環境整備対策

問 消防団員が、減少している今、市職員構成の消防団を結成すべきではないか。

答 現時点では、市職員を補充しなければ、活動が困難な状況ではない。

問 公民館は、市規則で月曜日は開館日である。中央公民館のみが、規則

に反し月曜日は休館日と

なっている。公民館行政は統一すべきではないのか。

答 中央公民館は、ありなすやめ研修棟と兼用しており、市民会館規則を優先し運営している。

問 中山間地域では、市域に比べ道路愛護区間は

極端に長い。市は、支援策を検討すべき時代では

ない。市道の他、国道、県道、農道等中山間地の方々の作業の労力負担には感謝している。早急に検討すべき重要課題と認識しており、引き続き皆様のご協力をお願いしたい。

答 市道の他、国道、県道、農道等中山間地の方々の作業の労力負担には感謝している。早急に検討すべき重要課題と認識しており、引き続き皆様のご協力をお願いしたい。

完了後、順次着工する。

市道新庄宮島線改良工事

問 具体的な工程計画は、現在、承諾を頂いている9筆の境界確定測量を実施中である。この境界測量の完了後、用地測量、物件調査を行い、地権者との用地買収、物件

移転の協議となる。契約

5月20日半壊した福島校区の空き家の現況、処置内容と今後の対応は

答

市道に崩落した瓦等を除去し、所有者に状況報告した

問 祈祷院に危険家屋があるが、現況と対応は

答 屋根と壁の傷みが激しく、建物の一部が市道へ崩落する恐れがあるため、通行者の安全確保にバリケード・コーンを配置し、所有者に適正管理するよう文書で依頼している。

問 個人の所有だから、適正管理をお願いする段階で終わると聞かえるが、

答 現在の状況では、市としてはお願いするところまでしかできない。

問 全国的な問題で、非常に進んだ対処をしている市町村がある。このま

ま放置するのは市の怠慢ではないかと思うが、

答 国でも議論が進んでいく。国の法律ができたら、個人の財産まで扱うような行政処理ができるのではないかと

思う。

問 行政として法律の壁があるのはわかるが、行う行政としてはの方法はないのか。

答 例えば道路管理上被害がないように台風接近の場合は通行規制をやる。

そこで亡くなったり、ケガをしたらには答えられない。できる範囲で防止策を講じる。



小 川 栄 一

利用者と直接契約の認定こども園と 保育所では保育料に差が出るのでは



松崎 辰義

答 苦慮しているが、ご協力を得る形で考えていきたい



環境問題について

問 「うすま・ふぁーむぱーく」の汚泥の処理能力は。

答 1日あたりの処理能力が82・5立方メートルといことになっている。

問 汚泥の搬入量が増えると、基準値をオーバーするようだが、本当にそれだけの処理能力があるのか？能力はどのようにして算定されるのか調べたのか。

答 施設の能力について、確認、整理したことはない。今後は県と協議しながら、処理能力の問題、あるいは質の問題など、さまざまな観点から取り組んでいく。

介護保険制度について

問 要支援1、2の方々の大部分はデイサービスと訪問介護である。この人たちは今後、総合事業対象者になり、介護申請が出来なくなるのでは。

答 基本的に要支援1、2がなくなる訳ではない。従来どおり既存のデイサービスに行く必要のある方は施設の事業所へ行ってもらう。

問 特別養護老人ホーム入所は要介護3以上の方が対象となるが、入れない方への対策は。

答 在宅で出来る部分をどう支えるかが課題だ。



三角 真弓



27年度より合併算定替による普通交付税の減少をどう乗り越えるのか

答

第6次八女市行政改革大綱に基づき行政運営を行う

行い資産・負債を記入した財務諸表等を作成し、住民の皆様への見える化を推進すべきではないか。

答 研究・勉強を行う。

問 超高齢化社会の中の地域の課題をどのように分析しているのか。

答 外部との接触や社会的参加と認知症予防が重要であり、地域包括支援センターの体制に充実を図り運営協議会で審議。

問 子どもたちを取り巻く環境の推進に関する法律による子どもたちへの支援への対応は。

答 家庭内の環境の改善等、意識の改革を図る。

問 財政基盤の強さを示す財政力指数、弾力性を示す経常収支比率、高齢化による扶助費の伸び、増減、一人当たりの地方債（借金）は。

答 財政力指数は0・36、経常収支比率82・8、扶助費は年々増加、税金も減少傾向、一人当たり約60万円の借金となっている。

問 今後、公有財産の整理、公会計を新しい基準モデルに沿った複式簿記・発生主義に変え、固定資産税台帳の整備を

行う。



井本政弘



年末年始特別警戒出動式

今、女の子が危ない！性犯罪被害が急増!!市民みんなで安全安心の取組を

答

防犯協会で防犯カメラ等防犯設備の拡充強化に関する決議を採択

問 幼い子どもや女性が犠牲になる凶悪な犯罪が後を絶たない昨今、福岡県全体としては犯罪件数は減少傾向にあるのに、八女警察署管内では増加している。特に性犯罪は3年で10倍に急増しており、異常事態である。市

民の不安を払拭するため八女地区防犯協会の会長としての市長の取組みを問う。

答 八女地区防犯協会は、八女警察署管内の居住者関係団体等で構成しており、防犯意識を高める啓発活動、青少年の非行防

止活動、防犯指導員、青少年補導員などの地域ボランティア活動の支援等を実施しており、平成26年度定期役員総会において防犯カメラ等防犯設備の拡充強化に関する決議が採択され、八女警察署から商店街、商業施設、学校等に設置のお願いをする予定である。市としても緊急性を要する所や機種の選択等、重要箇所への早急な設置に向けて検討している。また、市民への啓発のために、防犯の決起大会等も考えていきたい。

キウイフルーツかいよう病新系統「Psa3」の被害感染実態について

答

新系統かいよう病は、感染力が強く根本的な治療はない

問 現時点での対応は。

答 初発生より直ちに感染地への立ち入り制限と県専門委員会での検討と併せて、県の対応マニュアルに沿って伐採処置を含めた対応を進めている。

問 今後の対応策について。

答 発生した集落での説明会、行政を含めた対策会議を実施、対応策を協議する。農林水産省の現地調査も5月23日に行なわれている。

問 市域観光対策

答 着地型の滞在型の観光を進めるには、「食」ではないか。

問 茶のくに観光アクションプランについて

答 もてなし談議後の食の提供メニューの中から、八女の「これ!」と言える食の研究を進めていく。

答 観光物産館ときめき



朽網英文

福岡県知事 小川 洋様

キウイフルーツかいよう病発生に関する要望書
八女市長 三田村統之

- 1 発生園地における樹木の伐採等に要する経費、代替園の確保及び新植に要する経費のほか、未収益期間に対する支援など被害農家の営農継続のための支援
- 2 感染経路の早期特定と未発生園への感染拡大防止策の策定
- 3 キウイフルーツを樹体共済の対象品目とするなどの果樹共済制度の拡充
- 4 正確な情報提供による風評被害の防止及びキウイフルーツのイメージ向上対策

※ 市長より関係行政庁に送付しております

母子生活支援施設(ひまわり園)について、建築年月日は



牛島 孝之

答 昭和56年3月に建築しておりRC造3階建である

- 問** この建物について、耐震検査はなされているのか。
- 答** 平成21年3月に検査し、耐震の基準は満たしているという回答を得ている。
- 問** 建物の外観が、黒っぽい灰色となっているがこの件について市の見解は。
- 答** 議会が終わった後、一度現場を見させていただこうと思っている。
- 問** 再生可能エネルギーについて稼働している再生可能エネルギーの種類、箇
- 答** 現時点では生鮮農産物を販売する考えはない。
- 問** 八女観光物産館について
- 答** 八女観光物産館については、市民の方からぜひ生鮮農産物を販売してほしいという声をよく聞くが、今後販売するかどうか。
- 問** 八女観光物産館について
- 答** 太陽光発電1899件、水力発電は4ヶ所、農地における太陽光発電設備は11ヶ所許可されている。

母子生活支援施設とは
母子生活支援施設は、子育て支援を進めながら、母子の生活と自立を支援します。
〈児童福祉法第38条〉
母子生活支援施設は、配偶者のない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童を入所させて、これらの者を保護するとともに、これらの者の自立の促進のためにその生活を支援し、あわせて退所した者について相談その他の援助を行うことを目的とする施設とする。



全国市議会議長会表彰

第90回全国市議会議長会定期総会（平成26年5月28日）で、市議会議員として長年にわたり市政の進展に寄与された功績により、表彰を受けられました。



栗山 徹雄 議員
(議員15年以上)



赤木 達男 議員
(議員15年以上)